

CONTENTS COMBAT

2015.Dec.
No.477

12

Cover Design
Favorite Graphics Inc.
Cover Photo
MASAYUKI KIKUCHI
©WORLD PHOTO PRESS 2015

※本文中の価格は消費税込みの
総額表示です。



【第1特集/M4&M9】

008

米軍制式採用銃 M4カービン&M9ピストル 徹底追及

008 **バトルスナイパーM4 完結編**

SIG516と狙撃バッグを組み合わせ、
フィールドスナイピングの実戦力アップ!

Photos&Text by Tomo Hasegawa

018 **U.S. 9mm M9**

M9を使い倒した男 Victor Lopez

Photos&Text by Hiro Soga

024 **BERETTA 92FS**

実射インプレッション

Photos & Text by Muneki Samejima

028 **東京マルイ ガスブローバック**

U.S.M9 その系譜

Photos & Text by Takeo Ishii

【第2特集/ミリタリー】

032

自衛隊の力こぶ 日米共同訓練 「オリエントシールド」

Report by Masayuki Kikuchi

036

The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ]

2015年海兵隊FORCE RECON&MEU最新装備

解説:松原隆 撮影:山崎 学

085

Militaria Roundup! WWIIドイツ空軍降下猟兵 Part.2

解説:菊月俊之

【第2特集/トイガン】

046

WESTERN ARMS M4A1 PDW Ver.2015

Photos & Text by SHOTGUN MARCY

051

WESTERN ARMS SVインフィニティ《バトラー・モデル》

Photos & Text by SHOTGUN MARCY

054

WESTERN ARMS ベレッタM8045 《クーガーCBHW》

Photos & Text by SHOTGUN MARCY



137

KNIFE

138

カスタムナイフメーカー 藤田 守

142

JKGナイフコンテスト審査会



004

COMBAT FRONT LINE

058

NEW GENERATION STYLER

fujiwara

068

FEAR NOT THE DARK.....

Power of Light

SURE FIRE

act13 ライトだけじゃ無い!? シュアファイヤ!!

Photos & Text Tomo Hasegawa

072

トイガンニュース

072 東京マルイ グロック34

073 東京マルイ 次世代電動ガンHK416C

074 東京マルイ M870ウッドストック & M4バトリオットピストルHC

075 タナカ U.S. M9アームド・フォース/エボリューションHW

076 タナカ コルト・バイソン.357マグナム《RモデルHW》

077 タナカ コルトSAA 1st. 7 1/2スチール・ジュビター

078 WA ワイルドホーク・リターンズDX

079 WA ポプチャウススペシャルVer.1.5《ピンテージ》

079 WA ベレッタM9《ハート・ロッカー・バトル・ダメージ》

080

Goods & Accessory

084

ミリいじ技研

Photos&Text by Tomo Hasegawa

096

PRESENT

114

完全防水で耐久性に優れた新鋭タクティカルブーツ

ALTAI gear BOOTS

Photos&Text by Tomo Hasegawa

120

PROJECT NINJA

morizo (東京装備BAKA)

124

Custom Air Soft Gun

M4A1 PRIVATE CUSTOM Part.1 [メタル・フレーム編]

Photos & Text by SHOTGUN MARCY

132

兵装嗜癖

by Fujiwara

134

走って撃って楽しんで

サバゲ放浪記 ゆい散歩 其の13 東京編

取材:上矢ゆい

184

中田商店グッズ

186

S&Grafグッズ

097

GAME OVER THE TOP

100

サバゲ三等兵

105

Luminox BASH 2015

106

読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

108

トイガンズ・ジャンクション

158

日本一の早撃ちを決めるシューティング大会 Japan Steel Challenge 2015

161

バックナンバーリスト

162

ミリタリー・コレクション

164

レア・ミリタリー・テクノロジー

166

A STITCH IN TIME

167

死ななきゃ食える! 救済食指南

168

狩野健一郎のシネマ放浪記

169

狩野健一郎の新作DVD紹介

170

蛙のゆびさき (中山 蛙)

172

戦車兵通信 WORLD OF TANKS

174

コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175

読者プレゼント応募方法

176

編集後記





徳
M4 CARBINE 米軍制式採用銃
底
& M9 PISTOL
追
及



【バトルスナイパー M4】
BATTLE SNIPER
M4

SIG516と狙撃バッグを組み合わせ、フィールドスナイピングの実戦力アップ!

高い命中精度を備えたアサルトライフル“SIG516”によるバトルスナイパー訓練。
高性能スコープと狙撃バッグとの組み合わせで、戦闘力の可能性が拡大する。
Photos & Text by Tomo Hasegawa

VICTOR LOPEZ

U.S. 9MM M9

ヴィクター・ロペス

M 9 を 使 い 倒 し た 男

1985年、ベレッタ92シリーズが“M9”としてUSミリタリーに制式採用された。

以来30年、次世代サイドアームの可能性も囁かれているが、

今すぐにどうこうと言う事でもないようだ。

このM9を、海兵隊のスカウトスナイパーとして4回の海外派遣時に支給され、使い倒してきた男、

ヴィクター・ロペスに話を聞く事ができた。

Photos&Text by Hiro Soga

徹 底 追 及
M4 CARBINE 米軍制式採用銃
M9 PISTOL



日米共同訓練 オリエンタシールド

毎年恒例の陸自と米陸軍による日米共同訓練「オリエンタシールド」。昨年に引き続き米陸軍の前方展開部隊であるストライカー旅団が参加。第6師団は今後機動師団化されていく事が決まっている。まさに日米即応部隊の夢の共演となった。

東北部隊が繰り広げた熱い戦い

9月10日から9月21日までの間、王城寺原演習場及び大和駐屯地（いずれも宮城県）において、日米共同訓練「オリエンタシールド2015」が行なわれた。

日本側参加部隊は、東北方面隊第6師団第44普通科連隊を基幹とした約1280名。米側参加部隊は第25歩兵師団第1ストライカー旅団戦闘団第5歩兵連隊第1大隊を基幹とした約430名。

陸上自衛隊は毎年、米陸軍及び米海兵隊とともに日本国内において実動訓練を行なっている。訓練にはそれぞれコードネームが与えられており、米海兵隊とは「フォレストライト」として、毎年秋と冬に実施している。米陸軍とは、冬に「ノースウィンド」、秋に「オリエンタシールド」として実施している。

日米ともに参加部隊は毎回異なり、各部隊が持ち回りで訓練を実施している。1981年から開始され、今年で35年の歴史を持つ。東北方面隊として日米共同訓練を行なうのは24回目となり、そのうち米陸軍と実施したのは今回を含め14回目。第6師団としては、10回目となり、そのうち米陸軍と実施したのは4回目。ちなみに昨年の「オリエンタシールド2014」は北海道で行なわれ、参加したのは、日本側が第7師団第11普通科連隊、米側が第2歩兵師団第2ストライカー旅団戦闘団であった。

それでは今年の訓練の様様をご紹介します。



写真上) 市街地訓練場に展開するストライカー-ICVと軽装甲機動車。ストライカーの来日は今回で3回目となる。
写真下) ストライカー-MEVから下車してきたのはなんと陸自の衛生隊員。負傷者をいち早く収容するため飛び出していた。

海兵隊1st Reconnaissance Battalion (第1偵察大隊)

通称1st. RECONは主に偵察を中心とした活動を行なう部隊だ。第2次世界大戦の1941年に結成し、朝鮮戦争やベトナム戦争、中東戦争等に参戦し、2000年に再編成され1st. Recon Company から1st. Recon Bn. になり今日に至る。

カリフォルニア州キャンプ・ペンドルトン（沖縄は3rd. Recon Bn.）を拠点としている。部隊卒業者の多くは士官になる等エリートコースでも知られている。彼らの装備はFSBE2が基本だが支給されてからすでに10年が経過しており、防弾ベストや通信機器など様々なアイテムが変更されている。



The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第135回

2015年海兵隊FORCE RECON&MEU最新装備

●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学 ●撮影協力:NOF/Nunit(FK2, キイチ, SG80, ひっちょ, ナゲー, ドドイツ)/Ounit(珍装堂, RENCON)/Funit(ROY, Ume)
●その他撮影協力:Kees Tactical Factory ●協力ショップ:ウエスタン アームズ (<http://www.wa-gunnet.co.jp/>)/LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>)/
TRI'S(旧特工工房) (<http://tri-ss.com/>)/Gamis(<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>)/トイソルジャー (<http://www.toysoldier.com.hk/>)/珍装堂

M4A1 PDW Ver.2015



車載用小火器として利用される事が多いM4A1コンパクト・モデル、"PDW"。機能性を拡張する各種のアクセサリを標準装備し、バージョンアップした2015モデルが新登場!!

豪華装備付属で登場のM4A1コンパクト・モデル、2015バージョン

肩に襲い掛かり、はるか後方まで突き抜けていく、M4A1マグナ・モデルの重いキック。フルオート・モードでは、トリガーを引きながら、思わず歯を食いしばってしまうウエスタン アームズ (以下:WA) の傑作モデルだ。発売当初、世界中がそのパフォーマンスに驚愕したが、1年後にはさらにキック力を増し、各部の強化が図られた“スーパー・バージョン (S Ver.)”に進化。高性能・高耐久性ガスブローバックガンの誉れをほしいままにしてきた。

そんな、WAのM4A1シリーズも、市場デビューから7年。円熟したメカニズムと外観のリアルさ、そして硬質な感触をきわめたフルメタル・カスタムが、多数登場してファンを狂喜させた。特に今年 (2015年) は、M16系、M4A1系のバリエーションが多く、M4ファン、WAモデル・コレクターは、大いに頭を悩ませた事だろう。WAのM16/M4A1シリーズに関する限り、どれを選んでも大丈



付属のポイント・サイトは、イオテック551タイプ。レティクルは、レッド/グリーンの2色を選択できる発光量調整機能付きの、サークル&ポイント・タイプだ。



ロックレバーを起こし、ボックスを外してバッテリー交換。LR44バッテリー4個を使用する。



リアサイトは、LMTタクティカル・アジャスタブル・リアサイト・タイプ。ポイント・サイトと併用できる小型の固定サイトだ。